



バヤルバータルさん（右端）の案内で工場内を見て回る学生たち
＝美里町のキョーユー

モンゴル工業技術大付属高専のトウブシンジヤルガル・ビルグーンさん（19）は「大きな機械がたくさんあり、とても精密な仕事をしていて面白かった。将来は日本に進学したい」と話した。

モントウブシンジヤルガル出身で仙台高専専攻科を卒業後の昨春から働くバヤルバータルフー・バヤルバータルさん（24）が案内。学生は自動車や航空宇宙、医療といった幅広い産業分野に製品を送り出す工場内を興味深そうに見て回った。

モンゴル国内の高専3校に通う学生9人が28日、大崎地域の地元企業3社を視察した。仙台高専（仙台市）が24～30日の日程で実施し、教師を含む10人は24日に

ている交流プログラムの一環で、日本のものづくりを支える中小企業の製造現場を見て学んだ。

来日。仙台高専での体験授業などを経て、この日は官民組織「未来産業創造おおさき」の企画でキョーユー（美里町）、明治合成、大研工業（ともに大崎市）を訪問した。

精密機械加工を手がけるキョーユーでは、モンゴル出身で仙台高専専攻科を卒業後昨春から働くバヤルバータルフー・バヤルバータルさん（24）が案内。学生は自動車や航空宇宙、医療といった幅広い産業分野に製品を送り出す工場内を興味深そうに見て回った。大崎市役所で面会した伊藤康志市長は、モンゴル出身で観光大使を務める大相撲の宮城野親方（元横綱白鵬）や、2025年4月の開校を目指す市立日本語学校に触れながら「海外と交流し有為な人材を受け入れたい。これを機会に今後も縁をつないでほしい」と呼びかけた。

モンゴルの高専生 大崎の企業視察

ものづくり「精密な仕事」

た。

大崎市役所で面会した伊

藤康志市長は、モンゴル出

身で観光大使を務める大相

撲の宮城野親方（元横綱白

鵬）や、2025年4月の開校を目指す市立日本語學

校に触れながら「海外と交

流し有為な人材を受け入れ

たい。これを機会に今後も

縁をつないでほしい」と呼

びかけた。